



2026年4月9日

各 位

会 社 名 カネ美食品株式会社
代表者名 代表取締役社長 今井 善広
(コード番号2669 東証スタンダード市場)
問合せ先 執行役員経営管理本部長 大谷 浩一郎
T E L 052-879-6111 (代表)

固定資産の取得（新工場の建設）に関するお知らせ

当社は、愛知県丹羽郡扶桑町に新工場を建設し生産供給体制の強化をすることとしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

計画の目的

現在、当社を取り巻く事業環境は、親会社である株式会社パン・パシフィック・インターナショナルホールディングス（以下「P P I H」）との業務提携に基づく連携の深化により、大きく変化しております。

P P I Hグループに属するユニー株式会社、UDリテール株式会社、株式会社長崎屋、株式会社ドン・キホーテにおいて惣菜需要が拡大しており、当社製品への需要も着実に増加しております。

また、P P I Hは当社工場をグループにおける戦略的な製造拠点と位置付けており、同社の長期経営計画においては「惣菜をP P I Hグループの成長戦略の中核とする」方針が示されております。これに加え、新業態「ロビン・フード」の出店拡大により、今後も惣菜需要は一層拡大していくことが想定されます。

このような需要増加に的確に対応するとともに、P P I Hグループ各社における「内製品」の安定的かつ効率的な供給体制を強化するため、当社として最大規模となる新たな生産拠点を建設することといたしました。

新工場建設の概要

(1) 資産の名称	愛知扶桑ファクトリー（仮称）
(2) 所在地	愛知県丹羽郡扶桑町 23,312.25 m ² （約7,051坪）（注）
(3) 工場建設面積	6,491.03 m ²
(4) 資金調達方法	自己資金
(5) 生産品目	弁当、寿司、おにぎり、惣菜等の調理済食品（P P I Hグループ各社向けおよび自社内製品）
(6) 取得見込価額	48億65百万円

（注）なお土地に関してはすでに取得済みであります。

新工場のコンセプトと取り組み

(1) 戦略的供給拠点

中京から関西エリアへの生産を集約および生産キャパシティの拡大、くわえて同拠点におけるP P I Hと共同開発体制を構築するなどグループシナジーを最大限に発揮し、高品質な製品を安定的に供給するための基幹拠点として機能させます。

(2) データ駆動型スマートファクトリーの実現

数値管理を徹底し、生産計画および製造実績データをリアルタイムで連携させることで、食品ロスの削減と生産性の向上を同時に達成します。

(3) A G V（無人搬送車）の導入

身体的負担が大きかった荷受けに伴う重量物搬送などを無人化することにより、労働環境改善および省人化を実現します。

(4) サステナビリティと環境配慮

太陽光パネルの設置や高効率設備の導入により、CO2排出量削減とエネルギー効率の向上を図り、持続可能なビジネスモデルへの変革を推進します。

今後のスケジュール

2026年6月	着工
2027年12月	竣工（予定）
2028年3月	稼働開始（予定）

今後の見通し

新工場の稼働開始は2028年3月頃の予定であり、業績への貢献は2029年2月期以降になると見込んでおります。

以上